



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

1月号 JAN 2017

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2017 元旦

謹賀新年 新年のご挨拶 2017

あけましておめでとうございます。本年もマルト商事をご愛顧の程何卒宜しくお願い致します。

2017年がスタートしました。皆様どのようなお正月をお過ごしになられたでしょうか。天候に恵まれ、気持ちの良い新年を迎えられたことと思います。

2016年を振り返ると時の流れは速い！と感じるのですが、じっくりと考えてみると本当に色々なことがあった一年であったと思います。

まず思い浮かぶのが4月に熊本で起こった大地震です。2011年に発生した東日本大震災に匹敵するような大きな地震が発生してしまいました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに早期の復興をお祈り申し上げます。TPP合意や東京都知事の辞任と小池百合子新知事の誕生、築地市場移転問題等々話題に事欠かない一年でした。世界に目を向けてもテロの激化、まさかのイギリスEUからの離脱、米次期大統領がトランプ氏に…。歴史の転換点となるような事柄が次々と起こった年であったと思います。

これまでの「当たり前」が当たり前では無くなりつつある。そんな風が流れているように感じます。天候も同様です。統計にあてはまらない事象がどんどん起こる。昨年8月に発生した台風10号は東北・北海道を襲い、猛威をふるいました。忘れることができません。弊社においても契約産地である佐賀県の玉葱が2年連続で過去例を見ない大凶作に陥り、契約の商品が殆ど入荷しないという事態が発生していました。弊社としても多くの損害を出し、また、多くのお客様にご迷惑をおかけしてしまいましたが、何とか次の北海道産につながる！という矢先の出来事でした。北海道を1週間に3回の台風が直撃し、最終的に6個の台風が北海道に上陸、接近し、台風10号では激甚災害に指定される大きな被害をもたらしました。この災害によって、北海道産玉葱の生育に大きな影響が出たら…、会社に大きなダメージは避けられない…。

実際に被害に合われた皆様には恐縮ですが、私も本当に眠れない日々でした。忘れられません。

生産者様はじめ、多くのお取引先様のご尽力を賜り、今期北海道産玉葱は例年並みの出荷量という形に落ち着きました。そして何とか2016年を締めることができ、新しい年を迎えることが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

先述しましたが、これからの時代は、「これまで」にとらわれることなく事業を進めて行かなければ生き残れないというように強く感じています。「お客様に必要とされ、喜んで頂ける商品をお届けする」という商売の根本はしっかりと守りつつ、その目的を達成するための方法論を「これまで」にとらわれず、無限に考えなければならないと思っています。青果業界の当たり前は他業界の当たり前ではないかもしれませんが。広い視野で我々の事業に活かせると思うものはどんどん取り入れていきたいと考えています。

2017年は酉年です。鳶という鳥がいます。鷲、隼のように恰好のいい鳥というイメージは無いかと思えます。むしろ「トンビが鷹を生む」のようにあまり良くないイメージではないでしょうか。しかし、畑などを訪問していると良く見るのですが、「ピーピロロロ」と鳴きながら天高く舞い上がる鳶は、大空をふわふわと舞い上がりながら実に気持ち良さそうです。鳶は実はタカ科です。あまりちやほやはされませんが、人々の生活のそばにいる身近なそして恰好の良い鳥だと私は思っています。マルチ商事も酉年の今年は鳶のように天高く舞い上がり、そしてお客様の身近な存在になれるように従業員一同業務に邁進していきたいと思えます。

マルチ商事と関わって頂ける全ての皆様の今日より明日が、そして2016年より2017年が一層良くなるように全力で進んでいきます。玉葱を中心とした青果物を通じて、関わる全ての皆様をHAPPYにする会社になることをお約束し、また、皆様の益々のご繁栄を祈念させて頂き、新年のご挨拶とさせて頂きます。本年も何卒弊社をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年1月吉日
株式会社マルチ商事
代表取締役 戸澤 周一

営業課長中村のマルチ便PLUS! Ver2017

今月もどうぞよろしくお願ひいたします。
1月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします!



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	品質、数量ともに順調です。今季は悪天候の影響からB品の発生率が多くなっており、作業手間が余計にかかりますが、お客様の手元にはキレイな剥き玉葱をお届けしたいと思えます。
中国	11月下旬ころから不穏な動きを見せていた中国産玉葱ですが、ここへ来て落ち着きを見せています。世界的に見ても玉葱は不足しておらず、在庫を多く持つ中国産だけ強気に出ることはできないようです。品質も安定しており、引き続き良品の納品に努めます。現在甘肅省産、3月下旬ころから雲南省産へ切替予定です。
USA(黄玉、赤玉)	引き続き品質良好です。問題ありません。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315